とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和7年12月15日
クラス名（年齢）	たんぽぽ　　組（　2　歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

模造紙に置いて様々な自然物に触れてみよう

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

11月頃色づいた葉に触れて集めたり、葉に穴をあけて「おばけ」と楽しんでいたので、部屋でゆっくり自然物に触れるとより興味を持って楽しめるのではないかと考えた。

2、活動スケジュール

絵本「おちばがおどる」を読み聞かせ自然物に興味を持った後、
自然物を自由に模造紙に置いたり、触れて楽しむ。

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

各机に模造紙を敷く、落ち葉、もみじ、イチョウ、南天の実、目型のシールをそれぞれ皿に分けておく、絵本「おちばがおどる」

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

絵本「おちばがおどる」を見て、自然物に興味を持つ。
自然物を分けた皿をテーブルに置いて、好きなように取って自然物に触れて楽しむ。事前に葉に目型シールを貼って数枚隠しておき、子どもたちが見つけたら目型のシールを配って葉に目をつけて楽しむ。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・葉を2枚持ちながら見比べたり、葉の茎の部分を持ちながら「大きい」とつぶやいて嬉しそうに葉を持つ。 ・２枚の葉を頭に置いて「ぴょーん」と言いながら「うさぎさん」と話す。 ・葉をちぎり出すと茎のところまで丁寧にちぎったり、茎もちぎろうとするがちぎれないことに気づき、葉のところだけを細かくちぎる。 ・目型シールが貼ってある葉を見つけると「目がある！」と喜ぶ。その後、目型シールを用意すると、色々な葉に目型シールをつける。 ・イチョウの葉に目のシールを貼る。「緑のイチョウがお父さん、真ん中の黄色のイチョウがお母さん、少し小さいのが私だよ」と見立てながら遊ぶ。 ・大きさや色などに意識を持ちながら皿から探していて「私は小さいから少し小さめのイチョウにしたの」と話す。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・自然物に触れて遊んでいく中で、葉を茎の所まで細かくちぎったり、見比べて「お父さん、お母さん」と見立てたり、一つの遊びでも色々な発想や遊び方があることを学ぶことができた。準備した環境で子どもたち一人ひとりが様々な発見から遊びを広げていて、自然物に触れながら好きなように表現をして遊びを楽しむことができた。これから冬の自然にも触れて遊んでいきたい。